

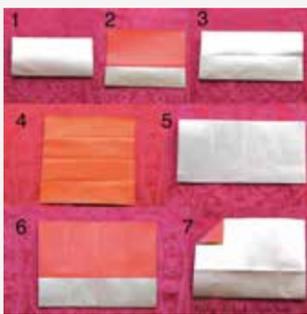
NY12か月の暮らし  
お気に入り  
で彩る  
うつわ  
に  
恋  
して



## Let's Try!

### 「箸袋」

- ① 折り紙を2色(2枚)重ねるか、表裏に色が付いたもの用意。2つ折りにする
- ② 一度線をつけて開いてから下側半分を2つ折り(谷折り)にする
- ③ 上側半分も2つ折り(谷折り)にする
- ④ 折り目をついたら全部開く
- ⑤ 紙を90度回す。さらに2つ折り(谷折り)にして折り目をつける
- ⑥ 元の形に開いてから折り紙を裏返す。下側半分を2つ折り(谷折り)にする
- ⑦ 折り紙を裏返す。線を見ながら左上の角を縦の辺の3分の1のところ斜めに谷折りにする
- ⑧ 右上の角を縦の辺の3分の2のところ谷折りにする
- ⑨ 左側を縦に中心に向かって2つ折りにする
- ⑩ 同じく右側も縦に中心に向かって2つ折りにする
- ⑪ ⑩の左下にポケットができるのでそこに右の下側の角を入れ込む
- ⑫ きれいに角までしっかり入れて形を整えると箸袋の形になる
- ⑬ 最後に下側のポケットの部分で3分の1折り、飾りを作って出来上がり。水引を付けるとさらにお正月らしくなる



# 1月 バカラ×トワルド・ジュイでジャポニズムなお正月

昨年、連載「NY12か月のテーブル物語」をご愛読いただき、誠にありがとうございました。2020年は、ニューヨークでの私の暮らしを彩るうつわを中心にお気に入りの品々をご紹介します。併せて、話題の店やグッズもレポートしてまいります。

1月のテーマは、バカラとトワルド・ジュイで演出するジャポニズムなお正月。

染付のお皿はとても華やかな絵付け。霊力を持つ唐獅子は悪い「気」を食べてくれる縁起もの。おめでたい図柄が1つひとつ丹念に描かれていて、お正月にふさわしい格調高いデザインです。その「格」に合せたのがバカラのグラス。テーブルコーディネートでは「格の釣り合い」がとても大切です。



### Toile de Jouy

テーブルクロスにはフランスの伝統的なプリント柄、トワルド・ジュイを使いました。草花や田園風景の柄は、発案から200年以上経つ現在でも世界中で人気。黒のトワルド・ジュイのクロスにバカラのプレート、デルファインのImariを並べてその上に塗りのお椀。和と洋をクロスオーバーさせたジャポニズムなテーブルの出来上がりです。



### Baccarat

クリスタルガラスのラグジュアリーブランド。本国フランスの歴代君主、英国や帝政ロシアなどヨーロッパの王室、モロッコ、タイの王室、さらには日本の皇室もバカラのクリスタルウエアを注文しています。ニューヨーク旗艦店はマジソン街の59丁目と60丁目の間にあります。

### 今月のOne Pointレッスン「伊万里スタイル」

17世紀半ばからオランダ東インド会社によってヨーロッパに輸出された伊万里焼は、1867年のパリ万博以降、「ジャポニズム」の象徴として大人気にとりわけ、ヨーロッパの王侯貴族の間で流行し、各国で伊万里風の器が作られました。陶磁器メーカー、ロイヤルクラウン・ダービー、デルファイン、エインズレイなどの伊万里風の器が残っていますし、柿右衛門を参考に描かれたマイセンのブルーオニオンやロイヤルコペンハーゲンのブルーフルーテッドシリーズなど、現在でも世界中の名窯に残るデザインがジャポニズムの影響を受けています。もともと日本のものを模倣または似せたデザインで描いているので、和のしつらえになじみやすく、海外生活で和食器がなくても和のスタイルを演出できます(写真は、ロイヤルクラウン・ダービーのImari)。



### 今月の紅茶「Russian Caravan by Fortnum & Mason」

キーマンとウーロンブレンド。ラブサンスーチョンと同様、スモーキーな中国茶独特の癖はあるものの、フレーバーティーほどの強い主張がないので食事と共にいただける万能なお茶。ストレートはもちろん、ミルクを入れても、和食と合わせても違和感がありません。キーマンは世界三大銘茶の1つ。新春にふさわしいお茶です。参考小売価格29ドル99セント(ティーバッグ25袋入り)



### NYレポート「Melsy's Illustrations」

ブライアントパークのクリスマスレジンでひととき人気だったのが、「メルシーズイラストレーション」。昨年、惜しまれつつ閉店したヘンリー・ベンデルのアイザック・ゼノー(Izak Zenou)が描くニューヨークも素敵でしたが、今年はこのお店が要チェック。実店舗はありませんが、Etsyで購入できます。



**大石育子**  
インテリアコーディネーター、食空間プランナー、英国式紅茶インストラクター、食空間プロジェクト(FSPJ)認定サロン、初級ディプロマ発行校 Atelier de Ikuko New York 主宰。「東京ドーム・テーブルウェアフェスティバル」特別審査部門で2019、2020年と2年連続入選、2020年、テーブルウェア・コーディネート部門で入選。日本クラブカルチャー講座講師。  
<http://atelierdeikukony.amebaownd.com>